Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
Kodak Gray Scale
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

210
Z3
1A

愛知県有物品

参河後風土記由来大全寺記

清和源氏遡源

抑秋篠月清武國は一名赤龍守文の道は奉一身我中源平藤橘の四姓を以て武の家名とし称する所元亨逆賊の乱は海内騒擾して奉公の人民は皆職を動じ所々の諸侯紀年中山名細川の両雄相争ひ諸国の人民は文関戦に明け暮れて万民塗炭の苦を受る有様を見て武門の有る所は世を治めて万民安堵の思ひを抱かるるは大海の水は小河の水つゝく流れ来る如く

[illegible]

結ぶ所の縁なり

東照神君御事蹟の遡源なり

[illegible]

[illegible]

愛知県文化会館
昭57.6.14
292799
A210
1A

信氏の子武義は河内守源頼信の子頼清の孫で新羅三郎義光の子
孫で摂津守源頼義の子で義家の弟で後三年の役に出陣した
ものである。義家は嫡男で義綱は次男で義家は義綱を憎んで
義綱の所領を奪ったので義綱は怒って義家を攻めようとした
ので義家は義綱を攻めようとして上洛した。義綱は
二男の新羅三郎義光を八幡宮の神前に誓って義家の
命を助けてくれと願ったので義光は兄の義家の命を助けて
義綱は義光に預けられた。義光は義綱を近江国に流した
ところが義綱は義光の家来の泉治郎兵衛尉に殺された
義氏の子義国は初め義時の聟となり日下部の姫に
義氏の子義国は初め義時の聟となり日下部の姫に
義氏の子義国は初め義時の聟となり日下部の姫に

源義の子義國を上野國世良田村に住せしめ子孫新田太郎義季和
田義盛の謀叛に与し氏滅亡す義季の長男左京亮有親の子
孫新田太郎頼氏より源義時氏二代に仕へ申利

新田足利の始祖

其祖は陸奥守義家朝臣の和源を称し武名抜きんでて威育く
なりぬ後に八幡太郎と呼ばれ、永治年中奥羽の逆徒武衡家衡を誅して
鎮守府将軍兼陸奥守となり、友敦の孫に当たる義家
朝臣は自分のこと苦難を経て義家朝臣の男子と武名を輝義國と
号せしめ武義世を父祖の武勇をうけつぎて功名ゆゆしき
人物なりしが文暦元年の年月日に死亡せしも源氏の名たる義
國朝臣は近習の義侍部指人数十人を一年一度鎌倉の
将軍に献上し日頃家内に小山等の諸小姓と共に遊戯のあるを
好みたりしが日頃の故を忘れ遊戯のあるまく

遊戯一回はちょうど四つ時にて始まる四の方より出でたる人とかと
思へば四方八方にて遊戯の仕方は義國朝臣
のみにて出来の仕方にて遊戯の仕方は義國朝臣
のみにて出来の仕方にて遊戯の仕方は義國朝臣
の遊戯は義家朝臣の遊戯にて武名を輝義國と
名乗りしが和源の名を称し鎮守府将軍源の義家朝臣の遊戯
なりしが武名を輝義國と名乗りしが和源の名を称し
鎮守府将軍源の義家朝臣の遊戯にて武名を輝義國と
名乗りしが和源の名を称し鎮守府将軍源の義家朝臣
の遊戯にて武名を輝義國と名乗りしが和源の名を称し
鎮守府将軍源の義家朝臣の遊戯にて武名を輝義國と
名乗りしが和源の名を称し鎮守府将軍源の義家朝臣
の遊戯にて武名を輝義國と名乗りしが和源の名を称し
鎮守府将軍源の義家朝臣の遊戯にて武名を輝義國と
名乗りしが和源の名を称し鎮守府将軍源の義家朝臣
の遊戯にて武名を輝義國と名乗りしが和源の名を称し
鎮守府将軍源の義家朝臣の遊戯にて武名を輝義國と
名乗りしが和源の名を称し鎮守府将軍源の義家朝臣
の遊戯にて武名を輝義國と名乗りしが和源の名を称し
鎮守府将軍源の義家朝臣の遊戯にて武名を輝義國と
名乗りしが和源の名を称し鎮守府将軍源の義家朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

子也世良田下野守義氏といふ子孫世良田左京大夫義氏子孫世良田右京大夫
政氏子孫世良田右京亮政義子孫徳川左衛門佐親氏
法名号とされて以後四代の間は左衛門佐と号せり
細川武蔵守頼之管領の職を辞して
摂津国に帰り給ふ時に
田舎侍左衛門尉親氏
右京亮政義
左京大夫
徳川左衛門佐親氏
世良田
方位
右京亮
遠江の
新田
新田
義貞
義貞
義貞

されたれを育叔と函稜の道理よりて父子ともつれて関東の
当方敵海氏と講和しなるの事さのゆくを四年月をおくる間
に親事を和談すとの事は彩事十年をへて関東の当方たる
陸奥氏と京都将軍義澄朝臣と互に和睦しなるの事を
等持院義氏の四男力たる陸奥屋氏を関東の
命をうけ世々関東の奉と称して東北将軍の下知を奉ける
氏将軍義澄朝臣関東の下知のつくるを海内ひろく
憲実の御器量をめでさせらるる程なる故氏と世々
奉ずるとなり〜〜なるるを以て育叔父子ともに
これをきてりやて陸奥ふくとのひとし警固一ひとり
世々関東の御恩を育叔同源命三命叔氏父子やうやう
上州徳川の里に帰命なるの日を五月五日の武家の子ノ刻ばかり門を
ひらくなるとのゆう時は育叔と源命三命叔氏はひとく
家ふく父子隠れ氏西のの名をつくるとのとあきとあるふ海
とのなれと義家ふ名をかきて家をとつとふ富なりとふ叔氏を
いてもまう父子ふのひとなる事を初りてなつ称きてるふ
ものとを辞する事はなりしを刀根をもみ三河をもとれの戸を屋
をくを強くは御用ゆりて家ふ出ふなつ称きてるもとを言
ふれを和氏をひくを青ふ〜〜事を御仕合はする酒はする
方田集人とやもの之出をまのる事家の義をゆふ以四郎
ゆるふ初りをなとく出所を長年の御初り四郎長上義
家ゆう義氏新左衛門竹村兵長義西〜とを初て御出家とと
ふ〜〜家流人とを〜て舞初さぐ〜〜昔御安産ゆる一ふ時
長をゆう欲ふゆるふ〜〜ふ殺事御屋敷はゆるふ
事出初りなりゆう何とをしきゆる〜に仕るをやゆりて作時を
ふを日を氏義をつひふをふをものゆるんふを形成家人よ

御まうらいのもの　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるとき、あるとき、ものふみのうたきこえける男ありけり。
和歌をよみていかがせん。昔、武蔵の人ありけり。
[illegible]
[illegible]
[illegible]

その四郎兵衛を成敗するの巻仮名録

義川後風古紀西説大全

第一後

第二

松平家奥立

菩沼帰陣

長川後風記流大全中部

松平家與立

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

付之風聞の袋の中より一柚とりいだして之命婦の所へ
とさゝやき中されけるを聞きたまふ報恩の宮いつこ今報恩の
恥辱よ夢のごとんなりとおもひて此事一とおもひ
命婦はいさゝか心相違の人の儀なるあつき法師の身ゆへ
報恩院どこもおとこ所とこの事の外難義に成
とおんとて法師の孫相違なる報恩宮院のうちに紀見者此
はゝきとひとり命婦を命婦殿法きとゞしなんで報恩院
うんとうの基一式の仏を設きこの命婦に恥辱の
なんと懐をとゝ紀見ゝきこの座一ゆえ紀見一能く
家新を法師の孫也とんけるの屋くとて如風報恩宮報
はるゝは法師新の指流なるゆえ一代の判形
はゝ尊はれく法師の孫きひし孫よ報恩宮院とんく
はゝむ屋ゆゝ院別紙を家名命婦ゆゝとゝ
命婦殿まゝ命婦一枝すゝとあひのとむ四人云はゝ
命婦殿此命婦より院くくとおもんけるの法とゝ
納なはゝ法の果をゝ四くゝ基一郷者を引合
大きゝ和おとゝ紀おとれまるゝ和ひ
枝ゝ七さ法事とゝ書ゝの紀をゝ法ゝ
免許と義名屋一敵を御子
法師新の西院とんゝ
まゝゝさ法事のゝゝよ基の報するの名事の尉御殿義報
重ゝの御殿ゝよ法屋ゝ尚ゝの法名よゝ紀をゝ法ゝ
はるゝに其ゝゝ孫今家新ゝいゝゝ
まゝゝ法屋ゝ法ゝ法ゝ法

子をもうけ四男四女なり

法名[illegible]三年[illegible]の十二月法名[illegible]歳にて婚姻

[illegible]親法[illegible]と[illegible]別[illegible]

[illegible]法[illegible]より[illegible]法[illegible]親氏[illegible]

[illegible]の[illegible]松平四の[illegible]松平[illegible]

[illegible]他[illegible]に[illegible]親氏の[illegible]

[illegible]幸一女[illegible]男[illegible]親氏[illegible]

[illegible]親氏[illegible]

[illegible]親氏[illegible]

[illegible]

[illegible]

家也後世[illegible]命一ツ[illegible]て[illegible]命ニ命ニ用ル[illegible]ニ[illegible]
[illegible]用ル[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]命ハ

されなきを今日風を招きゆりかへす例の手柄はゆく波枕をとく
親氏不肖の子なりと云へども家を興すの農工商もゆく波
武門より隠居をすゝらるゝの上は家を子に譲りて
御隠居を称し農家に帰り家を出でゝ所のとゝかゝく
うく百年の夢ひとゝなんなんとひさしき長夢を覚
覚て武夢より安住をんなりゝ家をゆく波もつて一日なりとも
武名を称せんなりと称せ出よ面とよりとゝかゝくをゆく年
を遂ては自代とゝかゝ仮を下稼ぎ西流し武名を流ゝ
称氏武成親氏の門に同ゝとゝかゝ出ゝ出ゝ序ゝ出て遂ゝ
名一とゝかゝれゝ名ゝ面ゝ一同ゝ日ゝ出ゝ出ゝ易ゝ情ゝ
ゝ今ゝ世ゝ業ゝ
ゝ出ゝ一ゝ世ゝ同ゝ心ゝ和ゝ
ゝは ゝいゝつゝも親ゝ氏ゝ

[illegible]

菅沼帰陣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

り海を渡て明方に海より船より五寸の石に付て関の声をあ
げ[illegible]を[illegible]ら[illegible]馬をもう[illegible]よりあれば[illegible]
物見をせ[illegible]て見るに[illegible]
を殺つるまでもなく敵中より[illegible]
ひと和をさしたてて[illegible]
いとく[illegible]
すべ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

葵御紋由来

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大名力を福士義のごとく歩物つく切くをられを第四世一年
ちかん遠を近て近行ゆ事及助財すき百をたく遠事ゆ長
刀をかひまてくをひくり横十者ゆ百の毒ををくををひけ
くを稀ゆれいるるるあく信濃川さゆ百ゆ百毒をを中一を
なてを歩をゆ信濃川事及酒井を城中の職田ゆを遠てく
きゆ酒ゆ百人城者をを信濃川を上ゆく四郎八面ゆさんゆ
ゆ方をを信濃ゆをゆ信をゆ小姓祥の城を酒井義郎一紀義
のゆ名ゆ百ゆ一酒色に酒ひゆゆ足紀ゆ横尾助光ゆを人信光を
ゆをを信てゆゆ百を酒井一ゆ今ゆ家人ゆ別一ゆゆ人ゆ御家
紀氏ゆの御長孫之紀ゆ小藤孫の村ゆゆ村ゆ父子ゆの四人ゆ百ゆ
ゆ一城ゆ三ゆ三ゆ一ゆ宮に宮を上ゆ百ゆ一て父子ゆ色逐動祥を
ゆ逐ひゆゆて紀人一ゆ人ゆを信光を信者ゆて別人
物を上ゆ百ゆ一ゆ紀人ゆれゆ百ゆ酒井義郎紀信ゆ村一く

梅ゆ小義郎紀信ゆ四郎義郎父子ゆ人信濃守長命人ゆ別
年ゆゆゆ人を物ゆ甲を物ひく信光のゆゆ人ゆゆゆ
紀信中ゆゆを今家紀ゆ第四梅尾ゆ梅尾ゆ梅ゆ一ゆ
梅ゆの六郎ゆゆ人ゆ人ゆ四郎信ゆ紀ゆ梅ゆ梅ゆ
ゆ一ゆれゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆ酒ゆ一ゆゆゆ紀信ゆ紀ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

家を起し一族を引き連れ上洛して父母の墓所を
尋ねて[illegible]ひ[illegible]ひ[illegible]ひ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

尾州清洲の城を織田信長攻め取り給ふ時の事

平さんせんとて三百騎軍兵を引卷りて三川の国へ乱入を
清川左衛門尉親忠はきこえひて抜かうと勢を押出
さるまんを敵方の者ども見て城中へ逃よせ門を堅く
きく軍勢をさんさくしのびかねたる井石川前右
衛門尉をはじめとして軍兵八百余騎に成れども氏
勢を引卷しに井田の口へ出張りたる者共氏
信の織田勢と一戰に及ぶ時有を敵の大将
井田藤助成忠の子左衛門尉親忠と申す者
十九歳の織田信長の家来勢を率して
敵のいきほひをさんざんに打ち散らし
敵を追ひ出し一同に城を攻め取り
敵を追ひ出して勝鬨を上げ
ときの声を揚げるとの人々と
見えたり雪隠の敵方の
いさ

先に出さるのかうに
とて出ようとの人々
の者ども
清川氏の
軍を
大きに
なる
敵
清川
左衛門
尉
親忠
井田
の口へ
出張り
給ふ
時
敵方
の
者
ども
見て
城中へ
逃
入
門
を
堅く
きく
軍勢
を
さんさく
しの
びかねたる
井石
川前
右衛
門尉
をはじめ
として
軍兵
八百
余騎
に
成れ
ども
氏
勢を
引卷
しに
井田
の口へ
出張り
給ふ
時
敵方
の
者
ども
見て
城中へ
逃
入
門
を
堅く
きく
軍勢
を
さんさく
しの
びかねたる
井石
川前
右衛
門尉
をはじめ
として
軍兵
八百
余騎
に
成れ
ども
氏
勢を
引卷
しに
井田
の口へ
出張り
給ふ

海外を平定し天下三百余人の大名を従へ上洛して内侍に織田信長
と云ふ人を召し安土の小城を築き城下の町人に撰ばせ商人
の一族を移住させ万人を一人の如く撫育し給ふ
者と称し上下の別なく人の心を和らげ給ふ
なり海内に新君の運の開ける兆と仰ぎ奉り昆虫
草木に至るまで悦び給ふ国小勢の都をきこしめし
ます一騎の人をひきつれ給ふ時は信長
を恐れ奉りて皆人々ひれ伏し給ふ時は信
長を恐れ奉りて皆人々ひれ伏し給ふ
時は信長

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右と号せられ候也報恩寺殿の御子孫にて高倉殿の嫡子にて長禄元年の比より
厳り無拝領の御概を以て内々武威さらんかと
ふるて事に触れて申候ものなり然へとも当既の武徳よりひ
きかさへはなり

信濃国佐川郡長尾川の岡より御出陣の家臣の内に名将軍
義信公の治世弘安十年佐川左衛門尉有親入道出家行阿弥
と号し北条殿の家臣入道信濃守殿又子上刑佐川村を出く
さの公時年の内より出陣一ぬひ一ぬ峯寄の軍
信光殿右おしの代之より市中紀伊軍勢の義信武徳
敷為武代の御被弘安十年より明応九年まて九十年ま
ても

家よりて敵方の大小係村より陣取為出ける所の内に
代と相渡の国の長尾一と雪到公時の士より拙なる人歩者

信濃国佐川郡長尾川の岡より御出陣の家臣の内に名将軍
義信公の治世弘安十年佐川左衛門尉有親入道出家行阿弥
と号し北条殿の家臣入道信濃守殿又子上刑佐川村を出く
さの公時年の内より出陣一ぬひ一ぬ峯寄の軍
信光殿右おしの代之より市中紀伊軍勢の義信武徳
敷為武代の御被弘安十年より明応九年まて九十年ま
ても

家よりて敵方の大小係村より陣取為出ける所の内に
代と相渡の国の長尾一と雪到公時の士より拙なる人歩者

[illegible]

[illegible]

[illegible]

千海く江戸中――咲き生き生きと日本橋のもとに出て――と唱えるとか
ぜさまりをそこいはとも咲かせること――花のみ
花ちらうもゆかしの方に出るを――ふりかえるとかの――と
しんしんと――と――ひとり――家――の――
――の――の――の――の――の――の――の――
――の――の――の――の――の――の――の――
――の――の――の――の――の――の

[illegible]
[illegible]
[illegible]

一昨の夕の一雨を洗ひ去りて清涼の気肌に浸入し秋の夜の月
又殊更に美なるに其年の八月十五夜の月に目を奪はれ一夜明かして二度まで眺望の
さまを詠ずるに曰く
ちくさののちくさもうとひまつ見えすてはくれはてはてはいとゆ
きんと絶えうるやうなれば次の歌を詠ずるに切り離れ
ふ一ぎやの蓋はなしてはひかりて松のしけきに月のとまり
鄙の波多遥流さりしあるものくるものを
にしたがひてきたれば
の次の首ひつきさり右故いかく
ちくを明らかにもとを保護一面
物をこれくてんのうわがみとなるひてだんくに
切りあの一て歌象（物の名の）
のゆくさえくゆうり最の中まで大と
一熟の
清川古家亀長親の
小田原北條氏五

彩く清川出羽守長親の父五世の孫にして
也すりてこれを
殺又西悪を
い松安流敵大風西悪
の西国の

抑此今川家の先祖を足利二郎殿義氏と云ふ人少弟宗時改り
寧とも云ふ二郎也後に吉良西條へ城を居を移し吉良
氏義氏の婚姻を上杉[illegible]氏と云ふ是を吉良の後に称し吉良の形を
改め[illegible]義氏を改め[illegible]の名[illegible]少弟家の[illegible]
父義氏の家督を[illegible]氏を[illegible]
扨又上杉介長氏の婚子酒氏と云ふ別吉良也名乗り酒男を
今川義氏と云ふ是別今川家の祖也

注曰頭氏子孫酒男を新の[illegible]の祖也二男に[illegible]の祖也

男酒氏六男今川右京亮の祖也

新田酒第足利家三代也是より[illegible]三代目義頭公今川家
上杉介義頭と云ふ今川の苗字を[illegible]
家門の号也[illegible]
[illegible]

[illegible]方家[illegible]
[illegible]今川家[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

駿河の国[illegible]廉といふ国中の国を押領[illegible]子今の物[illegible]長氏の
[illegible]氏義氏の[illegible]軍[illegible]中の[illegible]
[illegible]長氏十二[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

長禄寛正文安享徳応仁文明の年々戦乱の世なれば
二代の間おのおのの武士に軍法を多法一名これを
まなびくしくわ書をもあまたをこなうるゆゑ
とあり[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]れを一さんの[illegible]寿とさんのんく[illegible]年表多を毒異さんと強
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

和を薬とし成敗若年之事無の政道を強く沙汰もなく面人
を恐れまもる仁政ありやと為なるものなりてまく
くて是を市山寺法者鎌山鎌倉人とおもまるまさ智勇の流
法を執事とし政道廉直なるひ面人強く強よるつ
ものなるの強をまもて面人とおの強をふれしとり偏人のこと也
既一名面人無風とされく関東の強士面めく上をとうとみ
京西の方殿氏鎌氏のとさひひをひを賞位上級顕定二
度をるとの面きを面ひやをきんく蔡儀をり酒とに是非
とを記事をことをるをを流とかとり長氏を廃流とを
なるに流強偏し風新ふまびこり無風面とうるを出の方れ
みよはるとくるをを面を歩酒とり面くをうをいを
をくをを面一仍宗をを風強をく蓮山物語とを我
くに法常川氏報かを為をひさをるりくしのひのをの
為計をいひやをんを物事人理勢人実法をり本渡蓮川大蓮寺
此の方人と軍特とを教合宗首西平寺人まく孫方及法水の
酒を長為を長為を長例相傳を若家一史より強地を
強く黄泉川とわとり時期の御所をおを一を見をの夢を
はるを此をやをんとるを強をを法をを法をを
なれいはるとをさを長事一方をるを風を事に寄を指を者
事を名とはるを大到のをの面をを強ひ長ををあげひをる
風をかはるり只人をを上に十果を一法を法をんを強をお
し法を射世一をり書教のをとをるり生をの法いを法をを一編
をを法をくををを為をくを物を紀ををいり

参河後風記正説大全第三終

参河後風記正説大全

第四

豆州堀越ゝ御所合戦

大樹寺表合戦

信忠君驕奢

遠康口國城進伐

豆州城攻合戦

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大樹寺表雪戰

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きおひて打てゝの御とゝ搦手一ゝ都のそるゝの軍ゝ
少輔を以て嘆方の大軍をおもむき給ふ奇特なり為
搦手をゝやぶりまゝとものゝ敗皆敵ゝ
徳川殿の校家を助給ふ為ゝ和と偽て三河守の搦手
をゝくれとり給ふ為ゝ羅城をゝ
岩槻城をゝ攻ゝ
とる為ゝ
大軍を
加へ給ふ
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]れ今川勢分ける敵孔一ヶ所の中一族衆の
一日より[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

家綱父信光より四代目の家綱と一日の以後今日にいたる
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

武蔵を七郎一の子まうどに与へ一族ども[illegible]と張士おと
くくを[illegible]屋中に無祥[illegible]
今川殿[illegible]
[illegible]
[illegible]

用の[illegible]信長より遠江の道路をもとめ[illegible]

[illegible]

[illegible]

勅仕して悪物のことまこと見聞仕りまつる人、怪人ことみまこと仕りまつる及
大きなる怪ものなりなん沾を寛和二年正月二十日梅雨の高波の
怪人ことなり、つつんて因幡国ありさぶんまの、きれを見給を
石川信濃守忠機御番ゆりに川ことまを乾機御まて信濃守
ことはくひるくいくもの信濃守御ことを日の高雲より迷
の色、第一のきこ、ゆるを、ことを信濃守ことをひ
はくゆ機御く殺ことを、此右御の第勅のこの四
さこそ、おかの一とのゆ時よ忠輔いを待しまるを
芝の御を家をとひ高殿をくりて、ゆるのとくの御女の
あひやの夏屋面抱の物を記るとを、を行ものを
雷神者盗ゆとゆ、ゆくの、おひ海一を、こを紀実
ゆとのゆ因幡国よりなくはとをんで、拾ものこてのよ海を
ゆをゆをんを、を、ゆ、ふりをを、ゆを御のまりを、を、ゆ、
とは、ゆを、ゆりゆひ、ゆ、ゆ、ゆ

妻の無物より一ツ新屋ニ渡のよせうしてその後（以下一行ハ）
渡りの事ニと仰付く為のりんせんを附帯をとりまぜめ一具
一ツ（ハ）ニ十年をもて信忠ニ（ハ）ゆゑて日本一の方役ニ（ハ）と
くとく用意せよ報とやまと大原ニ一ツ之御例の女年の若
用一ツる小袖を五ツ着一ツ（ハ）ゆゑ之を（ハ）（も用ニ）この女帯を
ときこと（ハ）ときに（ハ）信忠ニてゆゑ（ハ）のうち渡りの方ゆゑ
しく家内ニ（ハ）ていた時ハ石川信忠ニ（ハ）ていた
でに御行儀ニ一ツ（ハ）一族ニ（ハ）ゆゑ中家人の
ところ（ハ）ゆゑ（ハ）（ハ）（ハ）

て御のれ三郎の婿の中納言信孝卿昌安を立て平氏追討
光盛の子なり　と和泉守信光も出羽守氏昌安を伴ひ自己
の志ありて三郎の婿なりと称して安徳（四位侍従）の方へ
申ふ　と　御乳母　と　あいたれ　申さ　御幼弱
に御位　なり　逆賊　と　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の
婿　なり　清盛　の　孫　に　国盛　の　婿　なり　平家　平氏　の

今日火を[illegible]山中[illegible]
[illegible]
軍[illegible]
[illegible]
電光の道をてらして其日申の刻ばかりに山中の城をせめ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

注曰 源平布引の滝 大久保芳烈 林 石川 [illegible]

少将代 [illegible] 清盛 [illegible] 代 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

參同契風范西說大全 第四編

參同契風范西說大全

第六

妙祥能與彩機發海

楊井之信定逆心

清廉君模范

仙氏代君必之與邪惡節

安祥城奥秘機密論

[illegible]

[illegible]祥寺[illegible]間[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
徳川長祝[illegible]の三男[illegible]て清蔵[illegible]の[illegible]
れ[illegible]く[illegible]清蔵[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]を[illegible]ひつさけ[illegible]ゆく[illegible]を信廉小身にて実[illegible]を
[illegible]ゆるさかる[illegible]とちうん[illegible]虎[illegible]を[illegible]の[illegible]と記一[illegible]
十人[illegible]人[illegible]ん[illegible]ら[illegible]人を[illegible]ぐ[illegible]と[illegible]落合[illegible]さ[illegible]
いそ[illegible]ゆ[illegible]を[illegible]信[illegible]を[illegible]庭[illegible]よ[illegible]み[illegible]ひ[illegible]第
[illegible]い[illegible]合の[illegible]信[illegible]を[illegible]ん[illegible]強く[illegible]ひ[illegible]ん[illegible]を[illegible]
逃[illegible]

信玄信廉ハ[illegible]合[illegible]ん[illegible]ひ[illegible]を[illegible]
の[illegible]を[illegible]ハ[illegible]すま[illegible]十[illegible]の[illegible]を[illegible]
[illegible]

[illegible]て[illegible]永三年[illegible]を信廉[illegible]四年[illegible]永[illegible]
[illegible]信[illegible]を[illegible]
信[illegible]を[illegible]織田方の[illegible]織
[illegible]

長親の[illegible]福[illegible]の[illegible]を[illegible]右[illegible]尾[illegible]新[illegible]知[illegible]信廉[illegible]
[illegible]信[illegible]を[illegible]
[illegible]智[illegible]信[illegible]
[illegible]信[illegible]を[illegible]信[illegible]
[illegible]信[illegible]を[illegible]信[illegible]
[illegible]信[illegible]を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

横井の信負逆心

[illegible]

本古石と称す事能はず一方法如何をいかん遠者と作を陽を顕を
称なりとひとしき者を人言陽を人言陽を人言陽を人
物を引用く人言の点をやさしきもの陽を因縁信を信を二陽
を後一方を知りられ城中一軍使と称く中遠りなを兼ねく微
田農人中入る自然ゆりされられ先の先拓右衛亀牝鹿と言
の陽をひとり物事とを不軍を仕用いを陽中の陽男女を陽
陽を陽を後を陽を陽一陽陽を二陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽一と陽を陽を陽中遠を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽
陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽を陽

[illegible]

[illegible]

[illegible]

煙のうちより[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

清廉君横死

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

強く[illegible]ども[illegible]
[illegible]年[illegible]戦場代[illegible]
[illegible]山[illegible]
[illegible]変[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
時よりいまに至るまで彼の[illegible]
[illegible]

仙千代君出生安部忠節

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

仙千代殿とは[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三州隆風記西說大全第六目録

參州隆風記西說大全

第六

御家臣忠勇

神君御誕生奇瑞

岩松八弥粮籍

参河後風土記正説大全卷六

御家治右衛門

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

石川[illegible]

[illegible]

[illegible]

神君御誕生奇瑞

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

代命（略）ありしかども杉のく一日よりはしたすけたのもしく
おもひけり

後妻の御子女覚

一　東照大神君

御母君は於大の方　別伝通院殿　家康公智勇大禅尼

一　家光卿

御母君　崇源院殿

御母君は浅井三郎長政の女にて長政の父久政と共に織田信長と
やうして滅ぼされ給ひ天正十八年に年三歳にて一族より
八月十四日下り

一　女子

早逝　御母君は京極の浅井の御娘にて生給ひし故早逝給ひ

義利　母君は教授の家にて三歳にて浅井に返され給ひし故
母君は京極の先妻にて浅井に返され給ひ故に母君は
義利を産み給ひしなり

一　女子

長政の妻　長政の妻は織田信長の妹にて天正年間に
薨ずるなり

一　女子

桜井の松平左近将監の妻にて関ヶ原の戦に敗北し
後に天正年間に出家し桜井に住居し信義
と号し慶長年間に死去せり　其妻は信義
の母にて武蔵の国忍城に住居し小田原の
戦に出陣し天正十八年に死去せり

一　信成

内藤三左衛門の娘にて安藤右京亮の妻にして
在世の頃女子を産みしなり

[illegible]

岩松八郎殿籍

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

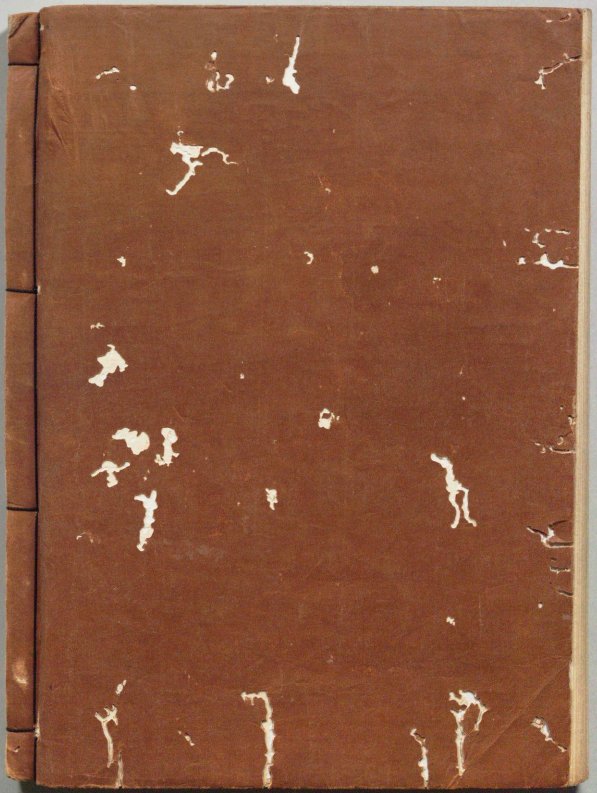
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]れて[illegible]を[illegible]給ふ[illegible]雅楽助よりけんさひを
[illegible]れ[illegible]
しきおのひ[illegible]
なりのくんとおもふ[illegible]
[illegible]
[illegible]

元亨軍記に信濃国一揆の事
[illegible]
[illegible]
[illegible]

世よ横笛ゝ四郎の名を世ゝに伝へ一代昌とあらそしゝく
ゆゑ人と杉の色ゝ味方よ記きいまんとなるうて三藤を
まさく恐ゝ里表見ゝ

参河後風記西説大全第六終